

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康相談事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資するものである。								
平成20年度実績								
1) まちの健康相談室 会場(開催回数)：市役所・保健センター・公民館等(96回) 内容：健康に関する相談・健診結果の説明・血圧測定・体重測定・検尿(必要時) 参加者：延べ537人 2) その他の健康相談 歯周疾患健康相談・病態別健康相談・市民健康相談等 実施回数：179回 参加者：延べ3,015人								決算額
								346千円
								実績値
								275回
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
○まちの健康相談来所者は固定化しており、65歳以上の参加が多く、40～64歳の参加が少ない。毎回参加される利用者にとっては、十分時間をとって相談に対応することができるので、相談日を楽しみにしている人もいなど、満足してもらっているようだ。 ○特定健診や、後期高齢者健診後の結果説明の場として「まちの健康相談室」の利用を勧めたが、利用者は少なかった。周知の方法等、検討が必要である。 ○市民健康相談をがん検診会場や、確定申告時に行うなど、市民が集まる機会に実施することで、多くの市民の参加が得られた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○若い世代がより利用しやすいように、夕方の健康相談を開催し、仕事帰りなどに相談できるようにする。 ○「健診結果説明会」を開催し、健診後の相談の場を充実する。また、健診結果送付時に案内を同封し、利用を促進する。								予算額
								311千円
								目標値
								277回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康教育事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。								
平成20年度実績								
1)健康エクササイズ 会場(開催回数): 宇和島保健センター(3回)、吉田公民館(2回)、三間保健福祉センター(3回) 内容: 音楽に合わせた運動 参加者: 延べ94人 2)その他の健康教育 病態別健康教育(集団健診時ミニ教育、健康講座、健康相談ミニ教育、その他依頼等で実施した教育) 延べ回数: 177回 参加者: 延べ8,270人								決算額
								105千円
								実績値
								185回
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○参加者は習慣化できる運動などを求めて参加されており、教室等に対する満足度は高かった。また、集団健診時のミニ教育では、メタボリックシンドロームについての教育を行った。制度が変わったことの周知もかねて実施したため、関心を持って聞いている様子が窺えた。 ○依頼等による健康教育では、教育内容の希望をされる場合が多く、ニーズに応じた教育が実施できた。教育の内容としては、メタボリックシンドロームが多く、全市で統一したパンフレットを使用することにより、教育内容を充実させることが出来た。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
教育内容については、参加者のニーズに合わせて行っていく。また、「からだところ」といった、複数のテーマをリンクさせた教育を展開していく。								予算額
								75千円
								目標値
								170回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●	
特定保健指導の推進	保険健康課	-	45%					
事業の概要								
内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。 特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機付け支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。								
平成20年度実績								
特定保健指導 ○動機付け支援 対象者：396名 初回面接実施者：251名(年度内終了者 113名 実施率 28.5%) ○積極的支援 対象者：214名 初回面接実施者：133名(年度内終了者 52名 実施率 24.2%)								決算額
								882千円
								実績値
								27.0%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
平成20年度の特定保健指導実施率目標10%に対して、今年度27%目標を達成できた。特定保健指導の予約がない方に対しては、一部電話での勧誘等を行い、実施率のアップにつながれたと思う。目標数以上の参加者が得られ、多くの方の生活習慣改善の意識づけを行えたと思う。予約のない方、「情報提供」者に対しては、個別に健診結果に基づいた生活改善の情報提供用紙を送付し、行動変容を促した。 今後、特定健診の受診者数が増加し、特定保健指導者が増加した場合を考え、特定保健指導の運営方法などについて検討していく必要がある。また、意欲向上、仲間づくりのためにも、運動や食事の集団健康教育への参加を積極的に勧めていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○昨年度同様の特定保健指導を実施する予定。 ○保健指導後も、自らが振り返り、生活改善行動を確認できるような冊子を作成予定。 ○運動や食事などの健康教育の受講を勧め、仲間づくりや生活改善の意欲向上に努めていきたい。								予算額
								823千円
								目標値
								15%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)						
健康教育事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。									
平成20年度実績									
1) 栄養編 会場(開催回数)：宇和島保健センター(2回)、吉田公民館(1回)、三間保健福祉センター(1回)、津島保健センター(1回) 内容：「食事バランスガイド、主食・主菜・副菜の適正量、糖質・脂質・塩分」 参加者：延べ47人 2) 運動編 会場(開催回数)：宇和島保健センター(2回)、吉田公民館(1回)、三間保健福祉センター(1回)、津島保健センター(1回) 内容：「正しいウォーキング、ウォーミングアップ、クーリングダウン」 参加者：延べ46人 講師：健康運動実践指導者								決算額	
								123千円	
								実績値	
								10回	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
1) 栄養編 参加人数が少なく、グループワークの活用が充分にできなかった。グループワークの時間を多く持つことで、自分を振り返り、実践につながる具体的な方法が見つかるよう支援する。 2) 運動編 講師の細かな指導で、安全で正しいウォーキングを学ぶことができていた。 また、吉田地区では、継続参加の声が上がり、住民主体の自主グループができ、ウォーキングの継続を図ることができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成21年度予定									
より多くの参加を促すため、宇和島地区をモデル地区とし、日曜日に運動編と栄養編を組み合わせた内容で開催する。講座の内容も、よりわかりやすく、すぐに実践につながるようなテーマ選択を行う。								予算額	
								563千円	
								目標値	
								16回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行うもの。								
平成20年度実績								
実施回数 14回 延べ参加者数 199名(入院患者48名、外来患者151名)								決算額
								0千円
								実績値
								14回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、また開催時には随時院内放送も実施していることから患者にも広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発を図ることができた。 ○毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、自己血糖測定器の点検を行っており、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行うことができた。 ○糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、糖尿病専門医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供することができた。 ○他病院(松山済生会病院)とのスタッフ交流も実施し、教室のマンネリ化防止、スタッフの知識習得に努めている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
定期的に開催を継続し、9月までは月1回程度実施予定とする。北棟完成により多目的栄養相談室ができ、講義室、調理実習室が使用可能となるため、10月以降は月3回程度の実施とし、夜間の教室も再開する予定である。調理実習教室も再開することから、より実践的な栄養食事指導が可能となる。 また、糖尿病教室の後に開催していた患者会「パール会」の談話会も再開予定である。								予算額
								0千円
								目標値
								月3回程度

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防につなげるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養、食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行うもの。								
平成20年度実績								
実施回数 10回 延べ参加者数 234名(入院患者71名、外来患者163名)								決算額
								0千円
								実績値
								10回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、また開催時には院内放送も実施していることから患者にも広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発を図ることができた。 ○重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じたまたは予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践につながる情報を提供することができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
月1回実施予定。 また、北棟完成後は夜間の教室を再開予定である。								予算額
								0千円
								目標値
								月1回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康相談事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
(心の健康相談) 心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等を行うことにより、個々の持つ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施するものである。 相談内容には、受療にあたっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、年6回精神科スタッフの協力を得て、個々のケースに対応している。								
平成20年度実績								
＜実施場所＞ 宇和島市障害者福祉センター むつみ荘 ＜日程・スタッフ＞ 毎月第1水曜日；年12回 予約制 保健師 *偶数月午後のみ精神科スタッフ従事 ＜利用者状況＞ 実人員 17人 延人員20人								決算額
								130千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○相談内容として、うつ病に関するものが多く、30～50歳代の相談者（本人）が増えている。 ○精神科医師相談の利用者が多く、受診するまでに身近な場所で専門医に相談したいという、市民の意向がうかがえる。また、相談によりうつ病の早期発見・治療に繋がったケースもあり、今後も市民が活用しやすい相談窓口として、広く周知していく必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
＜周知方法＞ 医療機関、産業保健センター、公民館、民生委員等への案内ちらし配布やポスター掲示依頼 ○定例相談回数及びスタッフについては、H20年度同様。 ○心の健康づくり講演会（H21.7.5）開催後、臨時相談日を設定予定。								予算額
								121千円
								目標値
								12回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
心の健康づくり事業(年に数回の講演、精神科医師による相談(予約制))	保険健康課							
事業の概要								
(心の健康づくり講演会) 壮年期の自殺者が増加する中、自殺企図者の約半数近くに見られる「うつ病」への対策として、H19年度から取り組んでいる健康教育事業である。専門医による講演会を開催することにより、「うつ病」に関する正しい知識の普及・気軽に相談や受診ができる体制づくりとともに、広く市民の心の健康づくりへの意識高揚を図ることを目的とする。								
平成20年度実績								
テーマ：「眠れないあなたのために」～不眠やうつを予防しよう、乗り越えよう～ 講師：島根大学医学部精神医学講座教授 堀口 淳先生 日時：平成20年5月17日(土) 午後1時～3時30分 会場：宇和島市役所 2階大会議室 参加者：370名							決算額	
							4千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
医療機関をはじめとする関係機関や各種団体への働きかけにより、多数の参加となった。参加者アンケートの結果から、うつ病の早期相談・受診の大切さを知ってもらえたことができた反面、相談窓口を知らないとの回答も多く、身近に相談できる窓口周知の充実が課題と思われた。 また、講師についても「身近な専門医」を希望するものが多く、市民が相談・受診しやすい体制づくりのためにも、近隣医療機関の医師等の検討が必要。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
テーマ：身近な『うつ』を見逃さないために ～うつ病の症状・治療・予防について～ 講師：財団法人 正光会宇和島病院 渡部 亜矢子医師 日時：平成21年7月5日(日) 午後1時30分～3時30分 会場：宇和島市役所 2階大会議室							予算額	
							24千円	
							目標値	
							1回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康教育事業	保険健康課						
事業の概要							
(男性版ヘルスアップ実践講座) 体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図ることを目的とし、特に男性をターゲットとした運動・栄養の講座をそれぞれ年1回開催しようとするものである。							
平成20年度実績							
会場：宇和島保健センター 1) 栄養編 「食事バランスガイド、アルコールの上手な飲み方」 平成20年11月26日 参加者 5人 2) 運動編 「正しいウォーキング」 講師：健康運動実践指導者 善家 栄美子 氏 平成20年11月6日 参加者 3人						決算額	
						100千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						2	
事業に対する評価・課題等							
参加対象を男性に限定した講座を開催したが、参加者が少なかった。平日の昼間ということもあり、参加しづらい状況であったと考える。 内容については、参加者一人ひとりに声かけを行うことができ、講座に対する満足度も高かった。 21年度は、周知方法等検討し、参加者の増加を図る。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成21年度予定							
運動編は、会場を宇和島保健センターから総合福祉センターへ変更し、より参加しやすい会場を選択した。さらに、筋トレ編として、吉田地区のふれあい運動公園内にあるトレーニング室で、筋トレ体験教室を開催する。また、男性が参加しやすいよう、筋トレ編は夜間の開催とする。						予算額	
						43千円	
						目標値	
						4回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康教育事業	保険健康課							
事業の概要								
(楽しく卒煙講座) グループワークを中心に、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、特に禁煙の意識づけと定着化を図ることを目的とする。								
平成20年度実績								
会場：宇和島保健センター ○平成20年9月25日 参加者 12名 「たばこについて知ろう」 ○平成20年10月6日 参加者 9名 「卒煙の知恵(体験談)・栄養士からのアドバイス」 ○平成21年1月21日 参加者 6名 「卒煙チャレンジトーク」								決算額
								65千円
								実績値
								3回
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
○グループワークを中心に展開していったことで、グループの一体感が生まれ、お互いが刺激あって禁煙継続の支えとなっていた。 ○尿中ニコチン検査を毎回実施することで、禁煙の効果を自分の目で確認してもらうことができ、励みになっていたと思われる。 ○参加者は男性のみであったため、女性も参加しやすい雰囲気づくりと周知方法を検討する必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								2
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
今年度も継続して実施する。 教室以外で、禁煙専用の相談日を設置し、参加者の事後フォローの場として活用し、自主グループ化へ向けて支援する。								予算額
								32千円
								目標値
								3回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	77.3%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○薬物乱用防止に対する教育。 ○喫煙や飲酒についてその健康被害に関する正確な情報の提供に努め、特に未成年者の喫煙・飲酒については家庭・学校・地域が一体となって予防を推進。 ○職場や公共の場所における受動喫煙防止策の普及促進を図る。 ○警察署員の薬物乱用防止について講演。								
平成20年度実績								
○小学校81%、中学校100%。 ○保健学習：学級活動の時間に学級ごとに指導。 ○薬物乱用防止についての講演。 ○敷地内禁煙。								決算額
								—
								実績値
								84%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○喫煙・飲酒が身体の成長に問題があることを児童全員がしっかりと理解できた。 ○教職員の敷地内禁煙が守られた。 ○保健だより等で情報発信に努めた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
○保健学習：学級活動の時間に喫煙・飲酒の健康被害についての学習。 ○学校保健委員会で高学年児童・保護者・学校保健委員を対象に薬物乱用防止について講演。 ○来校者・教職員の敷地内禁煙の徹底。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	5館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
不特定多数の住民が利用する公民館において、受動喫煙防止対策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指すもの。								
平成20年度実績								
5館増の合計10館							決算額	
							0千円	
							実績値	
							10館	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
5館増の合計15館							予算額	
							0千円	
							目標値	
							15館	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	1施設	2施設	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
受動喫煙の防止対策を図るため、施設内部の禁煙だけでなく、病院敷地における全面禁煙を目指すもの。平成19年度時点で、敷地内禁煙を実施しているのは吉田病院のみで、宇和島病院については施設外の敷地内における指定場所での喫煙を可とし、津島病院については施設内及び敷地内における指定場所での喫煙を可としている。								
平成20年度実績								
○平成20年10月15日から、宇和島病院が敷地内全面禁煙を実施。								決算額
								—
								実績値
								1施設
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
津島病院においても、喫煙室を廃止し、今後敷地内禁煙を目指す。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○敷地内禁煙の継続。(宇和島病院、吉田病院) ○施設内の喫煙室を廃止する。(津島病院)								予算額
								—
								目標値
								3施設

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
喫煙室(入所者向け)の設置	介護老人保健施設(病院局)							
事業の概要								
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。								
平成20年度実績								
2施設とも、従来より設置されている喫煙室(入所者向け)を継続利用。								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないケースがある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
喫煙室に於ける通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
母親学級・両親学級	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。								
平成20年度実績								
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) [マタニティスクール・マタニティクッキング]宇和島市に居住地を有する妊婦 [パパママスクール]宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(年2回コース) 津島保健センター(年2回コース)(H20年度で終了) (内容)								決算額
								7千円
								実績値
								7コース
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○受講率が減少している。今後も受講率アップを図るため、母子健康手帳交付時に周知していきたい。 ○学級の内容の理解度は100%であった。 ○H20年度より集計予定であった「学級受講者アンケート」は、質問内容を改善し、H22年度より集計することとする。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
○マタニティクッキングに夫の参加が可能なことをPR。 ○比較的申込みの多いパパママスクールを初日に実施し、マタニティスクールへ勧誘し、参加率を上げていく。								予算額
								9千円
								目標値
								5コース

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規																												
妊産婦相談	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規																												
事業の概要																																				
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。																																				
平成20年度実績																																				
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦 (場所・回数) 〔定例妊産婦相談〕 ・妊婦相談(プレママサークル): 宇和島保健センター(年12回) ・産婦相談: 宇和島保健センター(年12回) ・妊産婦相談: 吉田公民館(年12回) 三間保健福祉センター(年6回) 津島保健センター(年12回) 〔随時妊産婦相談〕 集会所や公民館、電話等において随時実施。 (内容) 個々の妊産婦に応じた相談 ・プレママサークルは座談会を実施 ・支所は育児相談と同時開催とする (従事者) 保健師・栄養士				<table><tr><th>妊婦</th><th>回数</th><th>相談者数(実)</th><th>相談者数(延)</th></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>プレママスクール</td><td>12</td><td>16</td><td>30</td></tr><tr><td>吉田地区</td><td>12</td><td>6</td><td>12</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>12</td><td>24</td><td>27</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>60</td><td>46</td><td>69</td></tr></table>			妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	0	0	プレママスクール	12	16	30	吉田地区	12	6	12	三間地区	12	24	27	津島地区	12	0	0	計	60	46	69	決算額	
				妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																													
				宇和島地区	12	0	0																													
				プレママスクール	12	16	30																													
				吉田地区	12	6	12																													
三間地区	12	24	27																																	
津島地区	12	0	0																																	
計	60	46	69																																	
0千円			実績値																																	
60回			進捗状況																																	
—																																				
○プレママサークルの参加人数は、利用促進をしたにも関わらず、昨年度とほぼ変わりなかったため、H21年度からは、育児相談と同日開催の妊婦相談として実施することとする。 ○実施回数、相談実人員ともに昨年度に比べ増加している。 ○産婦相談の実施回数は昨年度より1回減少しているが、実人員は変化なく、延べ人員は約2倍増加している。																																				
男女共同参画の視点での評価																																				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—																													
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—																													
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—																													
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—																													
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—																													
平成21年度予定																																				
本庁では妊婦相談単独で実施していたが、参加数が少ないため、支所と同様、育児相談、産婦相談と同時実施とする。							予算額																													
							0千円																													
							目標値																													
							48回																													

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)						
妊婦健康診査(無料公費負担)	保険健康課	2回／人	514回／人	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
母子保健法の規定により、妊娠中の女性の健康の保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。									
平成20年度実績									
○平成19年度まで、妊娠前期、後期の2回について公費負担を実施していたが、平成20年度から、妊娠期を通して公費負担回数を5回(一人当たり公費負担22,710円)に拡充して実施。利用の仕方等を説明すると共に受診勧奨を実施。 ○妊婦一般健康診査受診票に朝食の摂取状況、喫煙状況の質問項目を設け必要な支援を行う。 ○受診票の表紙にマタニティマークを掲載し、妊婦への周知を行う。								決算額	
								18,697千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
ほとんどの妊婦が定期的に妊婦健診を受診している。公費負担拡充に伴い、今後の受診率増加に期待したい。課題として、定められた検査以外の検査については、妊婦本人の負担となることや、県外の医療機関で受診の場合は、公費負担の対象とはならないことがあげられる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
○妊婦健康診査臨時特例給付金が交付されるに伴い、従来の5回の公費負担制度は継続され、9回の妊婦健診が追加。追加9回分の妊婦健診については、1回当たり4,000円の公費負担で実施。 ○県外里帰り出産についても公費負担で対応。 ○5回分、9回分の受診票ともに、利用の仕方等の説明を行い、適切な時期に利用できるよう支援する。 ※公費負担で受診できる回数が14回に拡充したことに伴い、平成24年度の目標値を変更。								予算額	
								36,301千円	
								目標値	
								14回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
母親学級・両親学級	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。								
平成20年度実績								
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) [マタニティスクール・マタニティクッキング]宇和島市に居住地を有する妊婦 [パパママスクール]宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(年2回コース) 津島保健センター(年2回コース)(H20年度で終了) (内容)								決算額
								0千円
								実績値
								7コース
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○受講率が減少している。今後も受講率アップを図るため、母子健康手帳交付時に周知していきたい。 ○学級の内容の理解度は100%であった。 ○H20年度より集計予定であった「学級受講者アンケート」は、質問内容を改善し、H22年度より集計することとする。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
○マタニティクッキングに夫の参加が可能なことをPR。 ○比較的申込みの多いパパママスクールを初日に実施し、マタニティスクールへ勧誘し、参加率を上げていく。								予算額
								0千円
								目標値
								5コース

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																															
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規																											
妊産婦相談	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規																											
事業の概要																																			
妊産・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊産・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。																																			
平成20年度実績																																			
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦 (場所・回数) 〔定例妊産婦相談〕 ・妊婦相談(プレママサークル):宇和島保健センター(年12回) ・産婦相談:宇和島保健センター(年12回) ・妊産婦相談:吉田公民館(年12回) 三間保健福祉センター(年6回) 津島保健センター(年12回) 〔随時妊産婦相談〕・集会所や公民館、電話等において随時実施。		<table><tr><td>妊婦</td><td>回数</td><td>相談者数(実)</td><td>相談者数(延)</td></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>プレママスクール</td><td>12</td><td>16</td><td>30</td></tr><tr><td>吉田地区</td><td>12</td><td>6</td><td>12</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>12</td><td>24</td><td>27</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>60</td><td>46</td><td>69</td></tr></table>				妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	0	0	プレママスクール	12	16	30	吉田地区	12	6	12	三間地区	12	24	27	津島地区	12	0	0	計	60	46	69	決算額	
妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																																
宇和島地区	12	0	0																																
プレママスクール	12	16	30																																
吉田地区	12	6	12																																
三間地区	12	24	27																																
津島地区	12	0	0																																
計	60	46	69																																
(内容) 個々の妊産婦に応じた相談 ・プレママサークルは座談会を実施 ・支所は育児相談と同時開催とする		<table><tr><td>産婦</td><td>回数</td><td>相談者数(実)</td><td>相談者数(延)</td></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>12</td><td>56</td><td>247</td></tr><tr><td>吉田地区</td><td>12</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>6</td><td>15</td><td>24</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>12</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>計</td><td>42</td><td>74</td><td>276</td></tr></table>				産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	56	247	吉田地区	12	2	2	三間地区	6	15	24	津島地区	12	1	3	計	42	74	276	実績値					
		産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																														
		宇和島地区	12	56	247																														
吉田地区	12	2	2																																
三間地区	6	15	24																																
津島地区	12	1	3																																
計	42	74	276																																
(従事者) 保健師・栄養士		<table><tr><td rowspan="2">妊婦</td><td colspan="2">人数</td></tr><tr><td>来所等</td><td>電話相談</td></tr><tr><td>全地区</td><td>35</td><td>18</td></tr></table>				妊婦	人数		来所等	電話相談	全地区	35	18	進捗状況																					
妊婦	人数																																		
	来所等	電話相談																																	
全地区	35	18																																	
		<table><tr><td rowspan="2">産婦</td><td colspan="2">人数</td></tr><tr><td>来所等</td><td>電話相談</td></tr><tr><td>全地区</td><td>15</td><td>12</td></tr></table>				産婦	人数		来所等	電話相談	全地区	15	12	—																					
産婦	人数																																		
	来所等	電話相談																																	
全地区	15	12																																	
事業に対する評価・課題等																																			
○プレママサークルの参加人数は、利用促進をしたにも関わらず、昨年度とほぼ変わりなかったため、H21年度からは、育児相談と同日開催の妊婦相談として実施することとする。 ○実施回数、相談実人員ともに昨年度に比べ増加している。 ○産婦相談の実施回数は昨年度より1回減少しているが、実人員は変化なく、延べ人員は約2倍増加している。																																			
男女共同参画の視点での評価																																			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—																											
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—																											
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—																											
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—																											
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—																											
平成21年度予定																																			
本庁では妊婦相談単独で実施していたが、参加数が少ないため、支所と同様、育児相談、産婦相談と同時実施とする。								予算額																											
								0千円																											
								目標値																											
								48回																											

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。									
平成20年度実績									
(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所) 本庁及び支所窓口にて、交付 (内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明 (従事者) 保健師							妊娠届出数	初産婦数	決算額
						宇和島地区	511	232	91千円
						吉田地区	45	19	実績値
						三間地区	19	4	
						津島地区	42	12	617人
						計	617	267	進捗状況
						—			
事業に対する評価・課題等									
妊娠、出産、育児に関して不安のある妊婦が半数あり、横ばい傾向である。また、妊婦健診で要フォローとなる妊婦も増加傾向にあり、安心して妊娠期が過ごせ、出産、育児に望めるよう妊婦を取り巻く環境を含めた整備が必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
母子健康手帳の交付に係る妊娠届出週数は、早期であることが望ましく、21年度においてもこれを推奨することとしている。このため、各医療機関等へポスターを掲示し、早期届出について勧奨することとしている。								予算額	
								94千円	
								目標値	
								—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
安産教室	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。								
平成20年度実績								
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導) 【栄養指導分】 実施回数 11回 延べ参加者数 25名(外来患者) 【一般分】 実施回数 22回 延べ参加者数 136名								決算額
								0千円
								実績値
								33回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
引き続き月3回程度実施予定								予算額
								0千円
								目標値
								月3回程度

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
育児学級	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。								
平成20年度実績								
毎月第2水曜日に実施。 実施回数 9回 延べ参加者数 17名							決算額	
							0千円	
							実績値	
							9回	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
定期的に開催しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者が少ない。								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
							—	
平成21年度予定								
引き続き月1回程度実施予定。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							月1回程度	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
カンガルー学級(母乳育児支援学級)	病院局 (吉田病院)							
事業の概要								
母乳育児についての相談、座談会を実施するもの。								
平成20年度実績								
平成19年度は2か月に1回実施していたが、20年度は実施していない。								決算額
								—
								実績値
								0
								進捗状況
								—
事業に対する評価・課題等								
○常勤産婦人科医不在（平成20年度分娩件数 … 0件） ○助産師の不足 上記により、当学級は現在開催していない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
開催予定なし。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	廃止	③新規
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]							
事業の概要								
年齢や体力に応じた様々な運動やスポーツに「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康の維持・増進を目指す総合型スポーツクラブの宇和島AITANスポーツクラブを助長しようとするものである。								
平成20年度実績								
宇和島AITANスポーツクラブ子どもスポーツ教室事業実施状況								決算額
実施月	スポーツ教室名						延参加者数(人)	—
7月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション						40	実績値
8月	チアリーディング レクリエーション						30	
9月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション ハンドボール バドミントン						148	
10月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション ハンドボール						119	
11月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション ハンドボール						145	
12月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション ハンドボール						141	1子どもスポーツ教室
1月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 レクリエーション ハンドボール						54	進捗状況
2月	バスケットボール チアリーディング 陸上 バレーボール 剣道 ソフトボール レクリエーション ハンドボール						77	
合 計						754	2	
事業に対する評価・課題等								
総合型スポーツクラブ組織化への支援協力に1年半を費やし設立をしたスポーツクラブではあるが、20年度の組織改革により愛媛女子短期大学が主導するクラブとなった為、本来の趣旨に沿った活動が行えていないのが現状であり先行きを懸念する。 なお、クラブの目的は、老若男女のスポーツ活動となっているが、男女間に隔たりのない子どもスポーツ教室のみが実施された。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成21年度予定								
愛媛女子短期大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。(平成21年度 廃止)								予算額
								—
								目標値
								1子どもスポーツ教室

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
HIV／エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課							
事業の概要								
国内のHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、平成16年に1,000件を突破した後、毎年1,000件を超える状態が続いている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要がある。愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めており、市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するなど、感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。								
平成20年度実績								
愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。								決算額
								0千円
								実績値
								—
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
県内の患者・感染者の発生は、平成11年までは、毎年1～3件であったが、12年以降は、5～9件と多い状況が続く、19年中は、はじめて10人を超えた。19年末までの累計は70件となり、予断を許さない状況にある。このような状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。市においては、現在のところ、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知および、正しい知識の啓発活動における協力が中心である。引き続いての協力体制を継続するとともに、市広報誌・ホームページ等を活用した、積極的な普及・啓発活動が求められる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
前年度と同様								予算額
								0千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	79.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○「自己の性への認識」「人間関係づくり」「家庭や社会の一員としての役割」について指導。 ○血液の扱い方(けが・鼻血等)について指導。 ○保健の授業で「病気の予防」について学習。 ○エイズの病気についての基礎学習。								
平成20年度実績								
○小学校78%、中学校100%。 ○学級活動・道徳・体育科・生活科で性に関する指導。 ○保健「病気の予防」でHIV／エイズについて学習。 ○道徳の題材の中でエイズについて人権啓発を行った。 ○エイズという病気での差別と人権について教育の実施。								決算額
								—
								実績値
								82%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○保護者に指導内容や授業の様子などを知らせ、学校の基本的な態度や指導の目標について十分な理解を得ることが大切である。 ○授業の中では理解しているが、生活の場面ではどうなのか実態がつかめない。 ○保健だより等で啓発することが望ましい。 ○人権教育を通して豊かな心の育成を図ることができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
○保健の授業での病気予防について学習。 ○血液の扱い方についての指導。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86.4%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○様々な体験活動を通して知識・技能を習得させ「学びたい」という意欲を育てていく。 ○基本的な健康生活習慣の育成と、生命と心を育む性(生)教育の研究と実践の推進。 ○心肺蘇生法講習会参加								
平成20年度実績								
○小学校89%、中学校100%。 ○自然体験・本物に触れる・基本的な生活習慣の徹底。 ○学校保健委員会を開催し家庭・地域・専門機関・学校との連携を図った。 ○ルールを守ることや善悪の判断など道徳性の育成。 ○健康診断の充実と事後措置の徹底を図った。 ○フッ素洗口普及事業の指定を積極的に活用。								決算額
								—
								実績値
								91%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○どの活動も子ども達の発達によい影響があった。 ○基本的な生活習慣の確立には今後も家庭との連携を密にし協力しなければならない。 ○様々な体験の中で新しい知識や技能を身に付けた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
○各時間・行事のねらいの達成。 ○他校との交流。 ○20年度の内容の継続。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																			
		現状値(H19)	目標値(H24)																																																				
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	28.9%	65%	①充実		②継続		③新規																																															
事業の概要																																																							
糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群に着目し、この該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を要する者を的確に抽出するための健診を行う。																																																							
平成20年度実績																																																							
<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">健診区分</th><th rowspan="2">回数</th><th colspan="2">受診者数(人)</th><th rowspan="2">計(人)</th></tr><tr><th>該当者</th><th>非該当者</th></tr><tr><td rowspan="2">特定健診</td><td>集団</td><td>71</td><td>2,949</td><td>102</td><td>3,051</td></tr><tr><td>個別</td><td></td><td>458</td><td>10</td><td>468</td></tr><tr><td rowspan="2">後期高齢者健診</td><td>集団</td><td>71</td><td>558</td><td>0</td><td>558</td></tr><tr><td>個別</td><td></td><td>61</td><td>0</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">その他の健診</td><td>集団</td><td>71</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>個別</td><td></td><td>0</td><td></td><td>0</td></tr><tr><td colspan="5"></td><td>4,141</td></tr></table>									健診区分	回数	受診者数(人)		計(人)	該当者	非該当者	特定健診	集団	71	2,949	102	3,051	個別		458	10	468	後期高齢者健診	集団	71	558	0	558	個別		61	0	61	その他の健診	集団	71	3		3	個別		0		0						4,141	決算額
	健診区分	回数	受診者数(人)		計(人)																																																		
			該当者	非該当者																																																			
特定健診	集団	71	2,949	102	3,051																																																		
	個別		458	10	468																																																		
後期高齢者健診	集団	71	558	0	558																																																		
	個別		61	0	61																																																		
その他の健診	集団	71	3		3																																																		
	個別		0		0																																																		
					4,141																																																		
								23,122千円																																															
								実績値																																															
								特定受診率 13.8%																																															
								進捗状況																																															
								2																																															
事業に対する評価・課題等																																																							
該当年齢に達した全市民を対象としていた老人保健法による基本健診から、特定健診へ移行したことによって、国民健康保険加入者以外の者が基本健診を受診することができなくなったり、詳細健診(貧血・心電図等)の実施に制約が設けられ、健診内容への不満が増加したことにより受診率が低下したと考えられる。特定健診の周知と、魅力ある内容の健診を実施する必要がある。																																																							
男女共同参画の視点での評価																																																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5																																															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5																																															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5																																															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5																																															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5																																															
平成21年度予定																																																							
								予算額																																															
健診の普及啓発のため、保存版「平成21年度宇和島市健康診査のご案内」を作成し広報別冊として配布し、ポスター、40歳の人へのはがき送付、新聞折り込み等で受診勧奨をし、健診の周知を図る。またオプションではあるが、希望者には詳細な健診の実施も予定している。								43,179千円																																															
								目標値																																															
								特定受診率 25%																																															

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課							
事業の概要								
がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がんの早期発見及びがんの死亡率を減少させることを目的として、集団検診(胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診)、個別検診(胃がん検診、子宮がん検診)を実施するものである。胃がん・肺がん・乳がん・大腸がん検診は40歳以上の男女、前立腺がん検診は40歳以上の男性、子宮がんは20歳以上の女性、乳がんは40歳以上の女性を対象として実施する。								
平成20年度実績								
集団検診						個別検診		決算額
(人)								31,097千円
	回数	受診者		回数	受診者		受診者	実績値
胃がん	71	2,883	前立腺がん	71	1,332	胃	307	94回
肺CRがん	66	2,030	乳がん	40	2,224	子宮	197	進捗状況
肺CTがん	14	879	子宮がん	53	2,087			5
大腸がん	71	3,705						
事業に対する評価・課題等								
平成20年度における胃がん、前立腺がん、乳がん、子宮がんについては、全市民を対象として実施しており、前年度より受診者は増加した。健康診査を実施する根拠法令が異なることから、特定健康診査に係る対象者が、国民健康保険加入者のみになり、がん検診との同時実施に際し、住民の混乱を招いている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
今年度の反省を踏まえて、特定健診・がん検診の普及啓発のため、保存版「平成21年度宇和島市健康診査のご案内」を作成し広報別冊として配布したり、受診勧奨のポスター、40歳の人へ受診勧奨はがきの送付、各種組織・団体、ケーブルテレビ、新聞折り込みでの受診勧奨をして検診の周知を図るように計画した。 また、特定健診と各種がん検診の同時実施についても重ねて周知の徹底を図ることとしている。								予算額
								35,514千円
								目標値
								97回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	10自治会	30自治会	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。								
平成20年度実績								
42自治会で実施。出席者数732人。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							42自治会	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
目標値を大きく上回り、実績をあげている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成21年度予定								
昨年と同様に、各自治会で医療懇談会を開催していく。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							42自治会	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。 ○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。								
平成20年度実績								
○新病院の開院に伴い「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施することが可能となった。 ○セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えることができた。 ○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 600件 電話相談 383件								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
								—
事業に対する評価・課題等								
○外来化学療法室にはリクライニングチェア、テレビを設置し、長時間の治療による負担の軽減にもつながる施設面での機能充実に図ることができた。 ○退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。 ○年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
継続して機能の充実を図る。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。								
平成20年度実績								
新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設けるなど、受診者の利便性も向上している。 【ドック受診者】 1日ドック：510名 2日ドック：547名 脳ドック：75名 受診者数計：1,132名(男性 509名、女性 623名) 【健康管理指導】 実施回数 72回 延べ参加者数 418名								決算額
								—
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。 ○ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。 ○各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
継続して機能の充実を図る。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																																			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規																																																																
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課																																																																						
事業の概要																																																																							
がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がんの早期発見及びがんの死亡率を減少させることを目的として、集団検診(胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診)、個別検診(胃がん検診、子宮がん検診)を実施するものである。胃がん・肺がん・乳がん・大腸がん検診は40歳以上の男女、前立腺がん検診は40歳以上の男性、子宮がんは20歳以上の女性、乳がんは40歳以上の女性を対象として実施する。																																																																							
平成20年度実績																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">集団検診</th><th colspan="3">(人)</th><th colspan="2">個別検診</th><th>決算額</th></tr> <tr> <th></th><th>回数</th><th>受診者</th><th></th><th>回数</th><th>受診者</th><th></th><th>受診者</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td><td>71</td><td>2,883</td><td>前立腺がん</td><td>71</td><td>1,332</td><td>胃</td><td>307</td><td>31,097千円</td></tr> <tr> <td>肺CRがん</td><td>66</td><td>2,030</td><td>乳がん</td><td>40</td><td>2,224</td><td>子宮</td><td>197</td><td>実績値</td></tr> <tr> <td>肺CTがん</td><td>14</td><td>879</td><td>子宮がん</td><td>53</td><td>2,087</td><td></td><td></td><td>94回</td></tr> <tr> <td>大腸がん</td><td>71</td><td>3,705</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>進捗状況</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> </tbody> </table>						集団検診			(人)			個別検診		決算額		回数	受診者		回数	受診者		受診者		胃がん	71	2,883	前立腺がん	71	1,332	胃	307	31,097千円	肺CRがん	66	2,030	乳がん	40	2,224	子宮	197	実績値	肺CTがん	14	879	子宮がん	53	2,087			94回	大腸がん	71	3,705						進捗状況									5			
集団検診			(人)			個別検診		決算額																																																															
	回数	受診者		回数	受診者		受診者																																																																
胃がん	71	2,883	前立腺がん	71	1,332	胃	307	31,097千円																																																															
肺CRがん	66	2,030	乳がん	40	2,224	子宮	197	実績値																																																															
肺CTがん	14	879	子宮がん	53	2,087			94回																																																															
大腸がん	71	3,705						進捗状況																																																															
								5																																																															
事業に対する評価・課題等																																																																							
平成20年度における胃がん、前立腺がん、乳がん、子宮がんについては、全市民を対象として実施しており、前年度より受診者は増加した。健康診査を実施する根拠法令が異なることから、特定健康診査に係る対象者が、国民健康保険加入者のみになり、がん検診との同時実施に際し、住民の混乱を招いている。																																																																							
男女共同参画の視点での評価																																																																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5																																																															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5																																																															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5																																																															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5																																																															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5																																																															
平成21年度予定																																																																							
今年度の反省を踏まえて、特定健診・がん検診の普及啓発のため、保存版「平成21年度宇和島市健康診査のご案内」を作成し広報別冊として配布したり、受診勧奨のポスター、40歳の人へ受診勧奨はがきの送付、各種組織・団体、ケーブルテレビ、新聞折り込みでの受診勧奨をして検診の周知を図るように計画した。 また、特定健診と各種がん検診の同時実施についても重ねて周知の徹底を図ることとしている。								予算額																																																															
								35,514千円																																																															
								目標値																																																															
								97回																																																															

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。								
○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。								
平成20年度実績								
○新病院の開院に伴い「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施することが可能となった。 ○セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えることができた。 ○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 600件 電話相談 383件							決算額	—
							実績値	—
							進捗状況	—
								—
事業に対する評価・課題等								
○外来化学療法室にはリクライニングチェア、テレビを設置し、長時間の治療による負担の軽減にもつながる施設面での機能充実を図ることができた。 ○退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。 ○年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
継続して機能の充実を図る。							予算額	—
								—
							目標値	—
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)					
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりを行う。 現在医師4名で不足している状況を改善するため、医師(所長)を5名体制として各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させるもの。								
平成20年度実績								
平成20年度から医師1名の採用が決まり、5名体制での運営となる予定だったが、平成19年度末に医師が退職することとなり、4名体制での運営となっている。なお、1名の医師赴任により、平成19年度と平成20年度では兼務する診療所に変更があったものの、地理的要因等の関係で1名の医師が3診療所を兼務する形となっている。 医師の募集状況は、市ホームページ及び愛媛大学医学部ホームページへの掲載を継続している。また、愛媛県への自治医科大学卒業医師の配置要望を行っているが、限られた医師定員で配置されるには至っていない。 医師の応募状況は、メールによる問合せや医師の紹介仲介会社(愛媛県医療対策課からの情報提供によるもの)からの照会等があったものの、問合せに留まっている。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							9施設4医師	
							進捗状況	
							1	
事業に対する評価・課題等								
全国的に医師数が不足している状況の中で、宇和島市においても市立吉田病院、市立津島病院も医師募集を行っている現状もあり、診療所として非常に厳しい状況にあるが、現在の募集条件(給与の増額など)を変更することは財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。 勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知し、医師赴任まで繋げる必要があり、また、赴任されてから診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも今後の課題の一つである。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
○本年度も市ホームページ及び愛媛大学医学部ホームページに募集記事を掲載し、医師募集を継続する。また愛媛県の自治医科大学卒業医師配置要望についても、本年度に引き続き、遊子診療所所長(医師)を継続して要望する。 ○医学雑誌等へ医師招聘の広告(2回予定)を掲載し、広く募集を行う。また、その他関係機関への募集も行う。							予算額	
							100千円	
							目標値	
							9施設5医師	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課							
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所で診療船うわじまを維持管理(運航等)を行い、離島での医師の兼任管理を実施し、地域医療の充実を図るもの。また、兼任管理中における緊急搬送等も行い、地域住民の生命の安全を確保するもの。								
平成20年度実績								
平成20年度は、戸島診療所木村所長の嘉島診療所兼任管理で月曜日、水曜日及び金曜日の午前に運航を実施している。診療船については、毎年度、定期的に年2回の定期ドックを実施し、維持管理を行っている。 なお、20年度までは火曜日及び木曜日に蔦淵診療所所長の九島診療所兼任管理を実施していたが、九島診療所所長の赴任により、21年度から運航廃止となっている。								決算額
								5,128千円
								実績値
								—
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
○宇和島市国民健康保険直営診療所はへき地・離島に設置してあるため、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動に民間交通機関が利用できないため、公用車・診療船による兼任管理を実施する必要がある。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運行停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きなものがある。 ○21年度は九島診療所の医師赴任により、兼任管理の一部変更を行った。それに伴い運航日程の変更があり、診療船の年間運航日数は減少した。現在は、下波(柿の浦)から出発し、戸島と嘉島の医師兼務の移送を行っているが、今後の医師の配置状況によっては、運航区間の変更が考えられます。そのため、診療所所長(医師)との協力体制の確立と診療船の効率運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
現在のところ、診療所所長(医師)の異動がないため、昨年度と同様に兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックも実施する。医師の異動により、診療日程の変更、兼任管理の変更を伴えば、適宜、実情に即して対応する。								予算額
								5,429千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は、1次医療機関として患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。								
平成20年度実績								
○「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。 ○診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)							決算額	
							0千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
それぞれの事例により対応等はことなるが、 ①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。 ②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。 ③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
前年度と同様。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。								
平成20年度実績								
○「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。 ○診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)							決算額	
							0千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
それぞれの事例により対応等は異なるが、 ①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。 ②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。 ③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
前年度と同様。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)						
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	—	1施設	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したものとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全優先に配慮されている。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と日頃より訓練等により、運用確認を行っている。									
平成20年度実績									
病院の改築により、新たにヘリポートを設置した。 ○消防訓練時に1回使用 ○搬送件数0件								決算額	
								—	
								実績値	
								1施設	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
○災害拠点病院・救命救急センターを有している本院としては有効な設備である。更に、ヘリポートからエレベータまでの患者搬送ルートが他施設と比べても短いため、院内の手術室等と動線的には理想的なアプローチを有している。 ○ヘリコプターの特性上エンジンカットをできず、着陸後短時間で発進しなければならないため、近隣への騒音・燃料消費の問題につながる。そのことによって焦りも生じるため訓練及び担当者の育成が重要になってくる。また、ヘリポートとヘリコプター間の防災無線による誘導にも訓練が必要であり、ヘリコプター到来と患者の搬送タイミングを読むのが難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
災害時等の緊急搬送等の発着利用だけでなく、県が構想している防災ヘリコプターのドクターヘリの運航が可能となるよう検討する予定。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—